

## 「地域の資源とは何か、 地域の可能性をどう引き出すか」 〜りそな銀行のヨラボレ〜プロジェクト=REENAL〜



我々の「銀行」というイメージを変えざる着眼点で企業・メディア・地域行政・大学等との連携をプロデュースし「銀行の究極のCSR（企業の社会的責任）」を追求しながら着実に成功されている「りそな銀行」発「※REENAL（リーナル）プロジェクト」を法人ソリューション営業部 アドバイザー・藤原 明様からご紹介頂きました。

※（REENALとはりそな銀行の「RESONA」と地域をあらわす「REGIONAL」の造語です）

★「REENAL プロジェクト」を簡単に説明ください。

一言で言えば「りそな銀行」が複数の協働者（企業・地域など）とのヨラボレ〜ションによりマーケット創出・産業創造・地域活性化をプロデュースするということです。従来の「銀行」としての機能だけではなく、いかに企業や地域のポテンシャル（潜在力）を引出し、「いいもの」を共に創り出す・・・それがREENALプロジェクトの使命だと思っています。

★なぜ「銀行」がこのようなプロジェクトを企画されたのですか。又その中で一番印象深いことは？

能動的に景気回復を創造するために、企業連携・産学連携・地域連携・官民連携で、地域を活性化するのは、銀行の究極の社会的責任であり、ダイナミックにそんなことができると銀行の「立ち位置」は本当に魅力的だなぁ、としみじみ思います。さまざまな連携の中では、「表現者」としてのクリエイターの活躍の場も提供できています。そういう意味では、常に新しい才能を発掘しているよりよいアーティストを育てている「FM802」との出会いは大きかったですね。

### 大阪証券取引所の上場サポート

〜今とこれから〜 <前編>

上場サポートを中心に熱心な活動をされている岡野 豊様（大阪証券取引所・市場企画本部・上場サポートグループ・グループリーダー）から、日頃企業が関心の高いテーマの一部についてお話を頂きました。

★ 我が国の取引所の起源は江戸時代に当時経済の中心地であった大阪に設けられた米穀取引所に遡る。大阪証券取引所は明治11年に株式会社組織として証券等の売買取引を開始。その後会員組織、株式会社化を變遷して平成16年に「ヘラクレス」上場。

昭和58年には「新第二部制度市場」を創立するなどベンチャー育成にも注力してきた。

★ 大阪証券取引所の役割は有価証券の売買、市場デリバティブ取引を行うために必要な市場を開設し、公益及び投資者保護に資するため、有価証券の売買等が公正・円滑に行われるように運営すること。自主規制機関として自主規制機能を強化する一方で、上場に関する相談や、公開

★このプロジェクトにより2007年に米国務省から「インターナショナル・ビジター・リーダーシップ・プログラム」に招待された藤原さんですが、海外プログラムで再認識したことは？

同様な活動をしている方々と意見交換できるよい機会でした。米国には企業の寄付行為に対する大幅な税制優遇など、企業の社会貢献活動へのモチベーションを引き出す仕組みがあります。現在の日本では同じ仕組みを持ち込むことは無理です。やはり、企業のモチベーションは企業活動自体です。やがて、企業活動と社会貢献活動を両立させるような企画を展開することが自然だと思えます。まさにREENALが目指しているものですね。もし、日本でこのモデルが定着すれば、日本発の世界標準になるかもしれない！という評価を意見交換の中でいただいたことは嬉しかったですね。

★今後の「REENALプロジェクト」の計画をお聞かせください。

今では手掛けた施策が300以上ですが、このプロジェクトの原点は大阪天満宮の「朱印つき証書ケース」です。「りそな銀行」の地盤の1つである「大阪」発の地域活性化モデルとして全国に広げていきたいですね。



前・公開後のサポートなどのサービス拡充にも取り組んでいる。

★ ジャスダックとの統合は来年の秋に予定しており、統合されるとヘラクレス上場企業170社、ジャスダック926社（昨年12月末現在）合計約1,100社の企業集積となり国内新興市場IPO件数におけるシェアは約70%となる。その存在感や企業メリットも高まると思われる。

<新規上場に関するQ・A>

Q：内部統制制度など企業の上場コストがアップしているという企業からの声もありますが・・・

A：現状四半期開示やJ-SOXなどの制度が施行されコストがかかっている点もあろうかと思えます。しかし乍ら制度による効果として管理面の充実や組織力の向上など企業の実力や信用力も付くことになるとも思います。例えば東証二部の上場会社が売上規模に合わせて内部統制の整備を簡略化されたという記事が出ていたように、企業の実態に即した整備も考えて行くことも必要です。

（談）次号へ

## 「トルコへ旅して」 <<最終回>>

### 3. 歴史教育について

“こんにちには” “こんにちには”と目をパチパチした可愛い少女達が声をかけてくれた。イスタンブールのトップカプ宮殿の中でのこと、少女達（14、5才?）が先生の引率で見学に来ていたのだから、日本人の私達を見つけて挨拶をし寄って来て一緒に写真を撮りたこと、驚くと同時に嬉しくなった。パチパチとスナップを撮るようになった。話には聞いていたが、こんなに親愛的な情を見せてくれるとは思ってなかった。少女達は社会科の授業の一環としてオスマントルコ帝国時代の86カラットのダイヤ、エメラルドをはめ込んだ黄金の短剣など財宝の数々の見学に来ていた。たまたまたラッキーにも同席したことによるものだ。

日本について彼女達は小学生の頃、歴史教育の中で和歌山県串本町沖合でのトルコ海軍の軍艦エルトゥール号遭難事件について教えられる。その時の日本人を高く評価し、敬意の念を持つようになっただけです。どこかの国のように反日教育をガンガン行なうとどうなるか? 橋下知事が教育の大切さを声を大にして発信しているが、まさに子供の頃の教育の重要性を痛感した次第です。特に歴史教育の重要性を感じる。いくら国政のトップ同士が首脳会議を行なって友好、友好を叫んでもダメ。どこかの国の反日教育や、戦後日本の自国民に真実の歴史を教えることをしない教育制度では、真の国際友好は出来ない。前述のトルコ海軍の遭難事件など大人でも知る人は少ないのではないか。

### 4. 結び

イスタンブールではブルーモスク、グランドバザール、エジプトバザール、そしてアジアと西洋の間を流れるボスボラス海峡のクルーズは圧巻。古代遺跡では、エフエスの古代都市遺跡が見ものだ。ローマ時代の円形競技場、アメリカの連邦議会議事堂のルーツと言われるケルルス図書館など一見の価値がある。しかし紀元前3000年からの遺跡の残るトロイはまだまだ未発掘のまま残されている。最近では韓国のヒュンダイの資金援助で進められているようだが、まだまだこれからとの感じである。眠れる遺跡はまだまだ山ほどある。タクシーは始どがヒュンダイ、トヨタも進出しているがこれからだろう。軽工學中心で繊維・衣類の輸出大国ではあるが、農業の比重が高い。40%は農民だ。金属・鉱物資源に恵まれ、原油天然ガスの採掘もこれからだ。国土は日本の倍、経済の発展はまだまだだが、大きな可能性を持つトルコではないかと思われる。

現在、大規模建設がアジアとヨーロッパを結ぶ海底トンネルを建設中であり、インフラの整備に日本は多大な貢献をしており、トルコ市民の期待も大きい。観光客は、年間ドイツからは350万人、日本からは13万人と聞く。

トルコから見れば“ガンバレ! ガンバレ! 日本”もって観光に来て下さい、と言うところだろう。

旅を終えて日本に帰り、前中川財務大臣の「あの…ふう…オバマせい…」のテレビニュースを見た。こんな状態ではトロイの遺跡ではないか、いつか東京も大阪もその内に古代遺跡になってしまうのか、と不安を覚えた。

(有) エス・ブイ総合研究所 山口義彦

続・拗ね者年金生活者の

## “偏見・曲解・暴言ブログ” <上>

まず現状を分析し、次に方向性を探ることに。

\* \*

悪家老と回船問屋の越後屋。「越後屋、そちも悪よのう」「いいえ、ご家老さまこそ…」 「…ふふふふ」。こんな風ですが、昨今の状況は、それにしても、稀にみる悪人相ですね、リーマンのCFOは、豪勢な邸宅も奥さん名義にしてしまったとか。こんな国をお手本にしたお陰で、弱肉強食を是とする、ひどい社会になってしまいました。「儲けて何が悪いんだ」（どこのファンド）とか、派遣労働者を「怠けてるからだ」とか暴論を吐いたりして。何だっただんでしようかね、「規制緩和」や「構造改革」とやらは? グローバリゼーションを声高に叫んで突き進んできたのに。そう言えば、懺悔していた学者の著書が宣伝されてきました。少し驚きましたが、読む予定はありません。百貨店を中心とする流通業界は総崩れ。頼みの輸出産業もガタガタ。自動車までも。低金利を続けて円安誘導し、労働分配率を低下させ、損益分岐点を引き下

げてまで輸出にシフトしたのに（「てんこもり」07/10～11）。市場原理主義を超える「私情」原理主義が蔓延し、政治も経済も二世、三世を含めて「クローニー」（縁故・取り巻き・利権を共にするもの）中心。究極のインサイダーでやりたい放題。労働組合まで既得権維持に汲々。派遣法に共産党を除く全政党が賛成したとか（私の無知も恥ずかしい）。品格のない人たちが「ヒンカク、サンカク」と喧しい。かって経済一流、政治は三流と揶揄されたが、今はそれ以下です。内部留保・配当・役員報酬の大幅増に対し、労働分配率は低下（「てんこもり」07/10～12）。「個人」セクターから「企業」セクター、「公的」セクター（＝財政難）、さらに「海外」への「所得移転」が進んだことに根本原因がある、と考えております。（次号へ）（09/2/21）

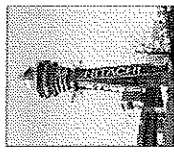
OHSマネジメント 代表 羽世田鉦四郎



## VECLポーターが行く!!

夕陽燦爛の坂のまちを歩く

～西方浄土の聖地・夕陽丘へ～ VEC課外交流会（H21.4.9）



初夏のような日差しの中30名を超える参加者と、大阪コミュニティ・ツーリズムのベテランガイドの方の案内で桜満開の天王寺公園から茶臼山・一心寺・・・と坂のまちを歩きました。他にも楽しそうなコースが色々あります。その後、普茶料理の老舗「阪口楼」で普茶料理を頂き、歩きの疲れも癒され大満足でした。天王寺の真ん中に老舗料亭があるとは大阪人でも知らない方が多いと思います。一度探訪されてはいかがでしょうか。\*

※普茶料理とは五色五法で炊き上げ仕上げていく中国式の精進料理です。<大阪コミュニティ・ツーリズムお問い合せ>

(財)大阪観光コンベンション協会 TEL 06-6282-5930

## ★「中小企業緊急雇用安定助成金」をご存知ですか・・・

生産量が減少し事業活動の縮小を余儀なくされた中小企業事業主がその雇用する労働者を一時的に休業、教育訓練又は出向をさせた場合に手当若しくは賃金等の一部を助成される場合があります。詳しくは下記へお問合せ下さい。

ハローワーク事業主支援コーナー内 大阪労働局雇用助成金窓口  
TEL 06-6346-7181（新阪急ビル8階）

## ～VEC関西より～

◆倒産や企業の統廃合など暗い話が多い中、VECに関係が深いエンジェル税制利用による投資が、08年前年比で四倍に増えたとか…まだまだ健全なベンチャーや、個人投資家も沢山おられるようで、不況の年こそベンチャーの活動の場があることを再確認しました。頑張れベンチャー!! (本田)

♥皆様、ゴールデンウィークはどうお過ごしでしょうか。私は友人その他総勢10名で「讃岐うどん弾丸ツアー(?)」制覇のため四国へ上陸いたします。さてどんな珍道中が待っているでしょうか。(濱本)

♣大阪証券取引所「上場サポートグループ」と、りそな銀行「法人ソリューション営業部」様から日頃熱心に取組んでおられる活動や業務について伺いました。これからはご活躍を期待します。羽世田様は是非現役続行され引き続き辛口のコメントをお願いいたします。(澤村)

(交流会予定)

6月12日(木)

近畿経済産業局 創業・経営支援課長  
福崎 文伸 様

6月29日(月)

Xarts株式会社 代表取締役  
和田 昌之 様



☎:06-6263-0366